

No.	申請団体名	本拠地	活動対象地域	事業名称	事業概要	選定理由	助成額	助成期間
1	NPO法人 みなば	札幌市	札幌市南区	ともに つながる・ひろがる みなば就労プロジェクト事業	ひとり親家庭で子どもが不登校になった場合、親の就労が難しくなり、家計が圧迫されるケースは少なくありません。不登校の子のための居場所支援を実施しているので昨年度かこのような事例を保護者の問合せがあり、子どもが不登校になったがひとり親家庭の為働かなければならないが子どもが（低年齢で、もしくは不安が強く）ひとりで留守番が出来ないなど、困難極めたケースの相談がありました。今回、このような状況に対応するため、子どもの居場所支援と就労支援を組み合わせた支援の仕組み作りと就労場所を作ります。①当法人の居場所支援事業で働きながら子どもと一緒に過ごすことが出来る支援②当法人フードバンク事業に子どもを連れて勤務できる職場にする支援を実施し、当事業所の既存の居場所で子どもは施設内で安心して過ごしながら学びや遊びの支援を受け、保護者は施設内で就労でき、子どもを見守りながら働ける場を提供します。③不登校の子を持つひとり親家庭等への食品配布（経済的支援）をします。以上、フードバンク、子どもの居場所、就労支援を一体化することでひとり親家庭の経済的、精神的にも不安やストレスの負担を軽減するだけでなく、多方面の社会課題の対応が可能になります。実際に進めるためには、自治体・他のNPO・企業の協力が必要となりますが、地域に根差した支援モデルとして大きな可能性があると考えます。	・子どもの支援の場と保護者の就労の場を重ねるという仕組みが特徴的で、対象者のニーズに合っていると感じました。 ・規模の大きい団体であり、既存のリソースやネットワークを活かして事業を実行できる見込みが高いと判断しました。 ・一方で、ひとり親家庭に対象をしばっているため、対象人数100名に届くのが懸念された。対象者にアプローチするための手段・内容の創意工夫を希望します。 ・助成終了後も活動を続けられるよう、実施体制を整えていただくよう希望します。	2,387,035	2025年5月～ 2026年2月末
2	株式会社 すみか	札幌市	北海道	支援ネットワーク形成による包括的キャリア支援事業～不登校の子を持つ保護者へのメンタルケア・情報提供・調査研究を柱とする持続可能な支援（まるっとポート）～	本事業の目的は、不登校の子どもとその保護者の「孤立」を防ぎ、当事者が社会とつながり自分らしく生きられるよう支援をすることである。本事業は、多様な団体や個人と連携することで支援ネットワークを形成し、不登校の子を持つ保護者への持続可能で包括的なメンタルケア・キャリア支援を行なう。そのため、助成期間内で新たにコンソーシアム組織として「一般社団法人まるっとポート（仮称）」を設立し、継続的な支援の実現をめざす。 事業は大きく4つの部門から成る。「①保護者支援」では、親の会によるメンタルケア、親子の孤立を防ぐ情報提供、親の会立ち上げサポートを行う。「②居場所・コンシェルジュ」では、不登校の子どもと保護者の居場所づくり、専門家や支援者によるオンライン相談体制の仕組みづくりを行う。「③研修・啓発」では、保護者向けの学習会の開催、学校教員むけの研修の開催、広く市民を対象とした啓発活動を行う。「④調査研究」では、より良い事業の実施に向け調査研究に基づく評価及び改善の提案を行なう。 本事業は、次の3団体によるコラボレーション体制で実施する。「不登校を語る親カフェレボレ（不登校の子を持つ保護者の会）」「株式会社すみか（産官地学連携をコーディネートする支援事業団体）」「MLA実践交流・勉強会（学校教員で構成する教育研修団体）」。また、さまざまな分野の協力者と連携し支援ネットワークの形成を目指す。	・構想されているネットワークの広がりには期待感がありました。 ・教育事業者や研究者などが関わる事業実施体制から、さらなる連携が生まれれば可能性が広がると感じられました。 ・一方で調査研究の意図と内容があいまいな印象を受けたので、位置づけを明確に進めていただければと思いました。 ・また、事業内容が多岐にわたるため、助成終了後も活動を続けられるよう、実施体制を整えていただくよう希望します。	3,474,409	2025年5月～ 2026年2月末
3	NPO法人 あさひかわ ナースハー モニー	旭川市	旭川市およびその近郊	不登校児の保護者の心理的サポート～保護者ニーズを明らかにして経済的支援へとつなぐ～	心理的サポートを中心に支援を行なう。 専門家によるカウンセリングや保護者同士が気軽に交流できる場を設け、悩みを共有しながら心の負担を軽減する。また、不登校の子どもをもつ当事者が相談に応じる窓口として、不登校支援者の回からふるとの連携も強化し、保護者支援の安定した基盤をつくる。 さらに経済的な不安を抱える保護者への就労へのニーズを把握し、必要に応じてキャリアコンサルタントにつなぐ支援も行う。さらに、保護者が安心して過ごせる場として、食事を一緒に囲んだり、クッキングや創作活動を行なったりする機会を提供する。ただ、話をするだけではなく、ともに手を動かし、同じ時間を過ごすことで、自然と心がほぐれ、新たなつながりが生まれることを目指す。子どもに対しては、フリースクール「ひなたぼっこ」を運営し、学習支援や創造的な活動通じて自信を取り戻す機会を提供する。この事業を通して、不登校の子どもだけではなく、その保護者が安心して自分の未来を考えられる環境を整えることを目指す	・専門職や地域の企業等とのつながりにより、就労支援の具体性が見える提案でした。 ・事業対象者への理解が深く、実効性のある支援が期待できると評価されました。 ・団体としての実績については心配な点も見受けられましたが、この助成を機に団体とネットワーク（からふる）の安定的な運営体制を築き、旭川市の不登校支援の主軸となっていくことを期待します。	3,463,601	2025年5月～ 2026年2月末
4	NPO法人 みんなの	砂川市	砂川市近郊	地域でつながりあう不登校苦悩校の家族支援	北海道砂川市の子ども若者を中心とした地域の居場所「みんなの秘密基地」で、午前から放課後までは無料のフリースクールを実施。 ・食事支援：希望者は調理体験もしながら無料で昼食を提供。月に2度の土曜と長期休暇中の子ども食堂もあり。 ・相談支援&ピアサポート&情報ポータル：来所が難しい子どもの保護者も含め「つながるお茶会」という親の会を2023年に発足。月に2回の対面茶話会とLINEグループコミュニティでの日常的なピアサポートを実施中。また不登校と重なるケースが非常に多い発達障害に関しても、2ヶ月に1回程度、市役所の福祉課を通して「ペアレンタメンター」を派遣してもらいグループ相談会を実施。今後は、療育や相談&医療機関、学校対応、進学、就職などに関するポータルサイトを構築し困り事解決のための情報ポータルサイトを構築。 ・経済的支援：不登校に伴い就労に支障をきたす保護者は、フリースクールの有償ボランティアとしてスタッフ参加も可能（調理、掃除、事務作業など）。地域での助け合いの一環として、日用品学用品食材などを自由に持ち帰れるパントリーコーナーもあり。 ・就労支援：地元企業に相談しながら、時間的な条件が合う、または在宅でもできる仕事の就労支援を実施。その仕事場た通信環境として秘密基地の利用も可能。また手作り品の販売支援として、善段子ども達が使っている工屋スペースの利用や販売も可能	・来年度以降もカフェを拠点に継続的な活動が見込まれており、事業の持続可能性が高いと感じました。 ・地域の特性を踏まえ、午前中からの開設など柔軟な運営体制が工夫されている点が評価されました ・有償ボランティアの仕組みについては、様々な問題が考えられると思慮するが、助成終了後も持続可能な形で検討していただきたいです。 ・現状ネットワークがない地域なので、行政や学校と共に不登校支援を考えるような団体・ネットワークに発展していくことを期待しています。	3,498,000	2025年5月～ 2026年2月末
5	NPO法人 学習支援 ルービス	釧路市	北海道釧路市近郊地域	親子で『学ぶ』、『つながる』そして『広がる』場所づくり	親自身のスキルアップと就労支援を通じて、家庭の安定と親子の成長を支えます。具体的には、企業インターンを含む実践的な職業訓練として、以下の講座を実施します。 CAD講座（設計・製図の基礎習得） 動画編集者講座（クリエイティブ業務への参入支援） 経理事務講座（在宅でも可能な事務スキルの習得） FP講座（金融リテラシー向上と副業支援） プログラミング講座（ITスキルを活かした就労機会の提供） これに加え、ピアサポートの場づくりやペアレンティングの支援を実施し、親同士が悩みを共有し、学び合える環境を整えます。単なる職業訓練にとどまらず、親子の相互理解を深めることで、家庭と社会の両面から持続的な支援を行います。	・心理的支援の提案が多い中で、就労のための技術取得から企業とのマッチングまで具体的に経済的支援をイメージされているところが評価されました。 ・実績のある就労支援だけでなく、対象者（子ども、保護者）に寄り添った心理的サポートについても期待します。	2,738,934	2025年5月～ 2026年2月末
6	NPO法人 北見NPOサ ポートセン ター	北見氏	北見市、美幌町	ハッピーチャレンジ伴走支援事業	○事業背景 経済環境が急速に変化する中、その影響を受ける不登校の子を抱える保護者への支援体制構築が求められている。 ○実施内容 1、就労支援研修 ①時 期：2025年7月～12月（北見・美幌会場それぞれ4回 計8回） ②対象者：北見市、美幌町の不登校児童、行き渋り園児を抱えた保護者 ③場 所：NPO法人耳をすませば（北見会場）、美幌町民会館（美幌会場） ④講 師：オフィスグローリアス代表山田佳代子（コミュニケーション・経営コンサルタント） ⑤内 容：:就労スキル・知識を保護者間での話し合いや講師の助言により得て、同様に悩む保護者との交流を通して、視野を広め、知識を深める。 2、個別相談会 ①時期～④講師までは就労支援研修と同じ ⑤内 容：保護者の心理低負担低減のため相談を行い、本人の希望や適性、家庭環境、子どもの状況に応じた就労スタイルを考える。 3、不登校児支援施設及び子どもの居場所紹介 ①時期～③場所までは同じ ④講 師：松原正彦（フリースクール代表） ⑤内 容：北見市、美幌町内で活動するフリースクールでの活動内容等について説明、質疑応答、意見交換を実施。 ○事業目標	・地域での起業や就業支援の実績から堅実で実行性が高く評価されました。 ・アウトカムやアウトプットの記載内容が、ファンド側が提示している枠組みに沿ったものに留まっており、団体独自・新規性の視点を追記していただくことを希望します。 ・活動全体が代表者の力量に依存している印象があり、組織としての持続性にやや懸念も残ったため、助成期間中に持続可能な実施体制を構築することを期待します。	2,089,985	2025年5月～ 2026年2月末
7	労働者協同組合 フラヌイス コーレ	富良野市	富良野市	不登校の子と親の「自分らしさ」を地域ぐるみで応援する	フラヌイスコーレは、農業・観光業者などの基幹産業をはじめ多様な職業背景をもった支援者たちが集い、地域自然環境や人的資源を生かし「すべての子どもたちの学習や体験の機会」を保障する地域ネット型フリースクール事業を中心に2023年10月労働者協同組合として発足した。不登校によって学校や地域社会から孤立し地域社会から排除されていた不登校の子どもたちと保護者の出会いを演出し、人によって閉じられたつながりを人々の手によって開いていく地域社会をめざしている。不登校の子どもたちや保護者が生き場を失いかけたとしても、このフラヌイスコーレで出会った地域の人々がその子たちや家庭を受けとめ「学び・遊び・対話・働く」場と再スタートまでの癒しの場を提供する。それによって、社会からリタイヤすることなく後に続く不登校生たちにも「将来を描ける」という希望を地域全体で実現したい。	・事業計画が現実的で無理のない内容であり、着実な実行が期待できました。 ・富良野地区における地域課題に対し、労働者協同組合という形態を選んだことに必然性を感じられました。保護者の就労支援の実績を生かしていくことがきます。 ・運営体制についてはやや不安が残ったため、助成期間中に組織基盤強化を図っていただきたいです。	3,345,487	2025年5月～ 2026年2月末